

# 大豊村農業振興五年計画

着實に組織と事業を進展

意欲が昂揚され、举村的な結集がなされた事は最も大きな収穫であった。村の繁栄は、各人の固い決意と、合理的な計

策に就て、村協議会の計画を発表したのであるが、計画は、着々実行に移されてゐる。然し猶足ぶみしてい

る点もあるから、その部門

の奮起を望み度い。

①全部落に推進委員が設置され、

②右協議会の結果各部毎に

農業改良寒害組合を創立す

ることとなり、推進委員の

御努力で、殆んどの部落に

組合が結成された。組合に

あり、中が広く、然も深く研究されねばならない農業

経営の各分野を、組織的

に、御互いに世話をし合つた。九月一日現在未創立

の部落が三割程度あるが、

足並みが揃わないと次の段階へ進めないから、事務局も頑張るから、おくれた部

落の奮起を願い度い。

③全部落が三割程度あるが、

足並みが揃わないと次の段

階へ進めないから、事務局も頑張るから、おくれた部

落の奮起を願い度い。

④オーフ号報酬で協同化通

の研究開拓について、

議論が

農業会、公民館、學校、青年

婦人団、農業委員会、農協

森林組合等が、夫々の立場

から、共に愛い、共に励まし合

し合う、自主的な内部活動

をする事が要請されている

が、今日迄にどの程度この運動が充実されれているだろ

うか。農業振興、即ち村造りは、その村の社会的資源

が充実されればならない

事である。農業振興の最も重要な出

身部落繁榮の全責任を負う

べきである。農業振興の最も重要な出

身部落繁榮の全責任を負う

